



動物ふれあい教室から

10月26日(金)に菊池保健所と動物愛護センターから講師をお招きし「動物ふれあい教室」を開催しました。これまで多くの種類の動物にふれあうことに重点をおいていましたが、今回は「命の大切さ」を中心にふれあい教室が進められました。

はじめに人の心臓の話があり、心音マイクを使って、実際に人の心音を子どもたちと聞きました。「あー聞こえる!」という声が上がりました。次に犬の心音を聞かせてもらいました。鼓動は早いのですが、犬からも人と同じ心音がしました。子どもたちは、犬にも人と同じ心臓があること、同じように動いていることを実感し、犬の命も人の命も同じということを感じ取ることができたようです。

今回連れてきていただいた犬は、人に捨てられた犬ばかりでした。犬も命があり、飼うことになつたら「家族」として大切にして欲しいとお話があり、子どもたちは素直に受け入れていました。

命の大切さは、道徳や人権学習でいつも学んでいますが、こうやって動物の命から学ぶ貴重な機会となりました。



おー、心臓の音が聞こえるよ

よみがえれ池



吉山会長様ご挨拶



生け捕り作戦実施中



フナを捕獲

きました。はて、残されたのは池の底にあった大量の泥・・・。このあと、かなり重労働でしたが南B a小会の吉山さん、酒井さん、用務の坂本さん、西村先生、と私の5名で完全に撤去しました。池を囲む石の一つに「昭和三十五年度卒業記念」と刻んであります。これまで58年間に積もったものなのかと歴史も感じながらの作業となりました。現在、どこから漏れているか調査中です。保護者のみなさん、地域のみなさん一度ご覧になりませんか。

誕生!ボランティアガイド 閉講式が行われました

10月19日(金)に今年度の鼻ぐり井手ボランティアガイド養成講座の現地研修、閉講式がありました。

3、4年生は、これまで6月から5回にわたる研修を受けてきました。「加藤清正公のみずものがたり」「鼻ぐり井手の仕組み」「作られたときの地域の生活」などを学習してきました。現地学習会では、これまで学習してきた、眼鏡橋や鼻ぐり井手、馬場楠堰をまわりこれまでの学びを確認していました。聞いただけの知識だけでなく実物を見ることで、当時の技術力の高さやたくさんの苦労を感じ取ることができました。

閉講式では、上川教育長先生から「受講証」を交付していただきました。

この講座の期間中に白川流域かんがい用水群(鼻ぐり井手、馬場楠堰など)は今年8月、世界灌漑施設遺産に指定を受けました。記念すべき出来事です。

3・4年生は、11月13日(火)に開かれる町音楽会と18日(日)に開催される鼻ぐり井手祭での発表に向けて練習を頑張っています。

これまで、講師やお世話役として講座を支えていただいた教育委員会、内田清晴さん、上村隆一さん、前田千佳子さん、富田久美子さん、實取初雄さん、ありがとうございました。



現地学習 学んだ知識を確認しました



上川教育長先生から受講証をいただきました

10月26日(金)の午後、南B a小会の皆さんと5・6年生で「池の水全部抜く」作戦を実施しました。池は、水漏れを起こしていて、一度水を全部抜いた後に修理を進める計画です。

当日、南B a小会会長の吉山様よりご挨拶の後、池の中にいるメダカやフナ、エビなどを生け捕りしました。メダカやフナは、酒井さんに準備していただいた水槽に次々に移しました。短時間の作業でしたが、たくさんの生き物を保護することができました。

生き物を捕獲し、水や泥を掻き出しましたが、子どもたちの参加は5時間目のみで授業に戻っていました。

